

七隈線延伸事業の進捗状況について

1) 全体スケジュール	P 1
2) 工事の進捗状況	P 1～2

平成29年 5月12日(金)

福岡市交通局

七隈線延伸事業の進捗状況について

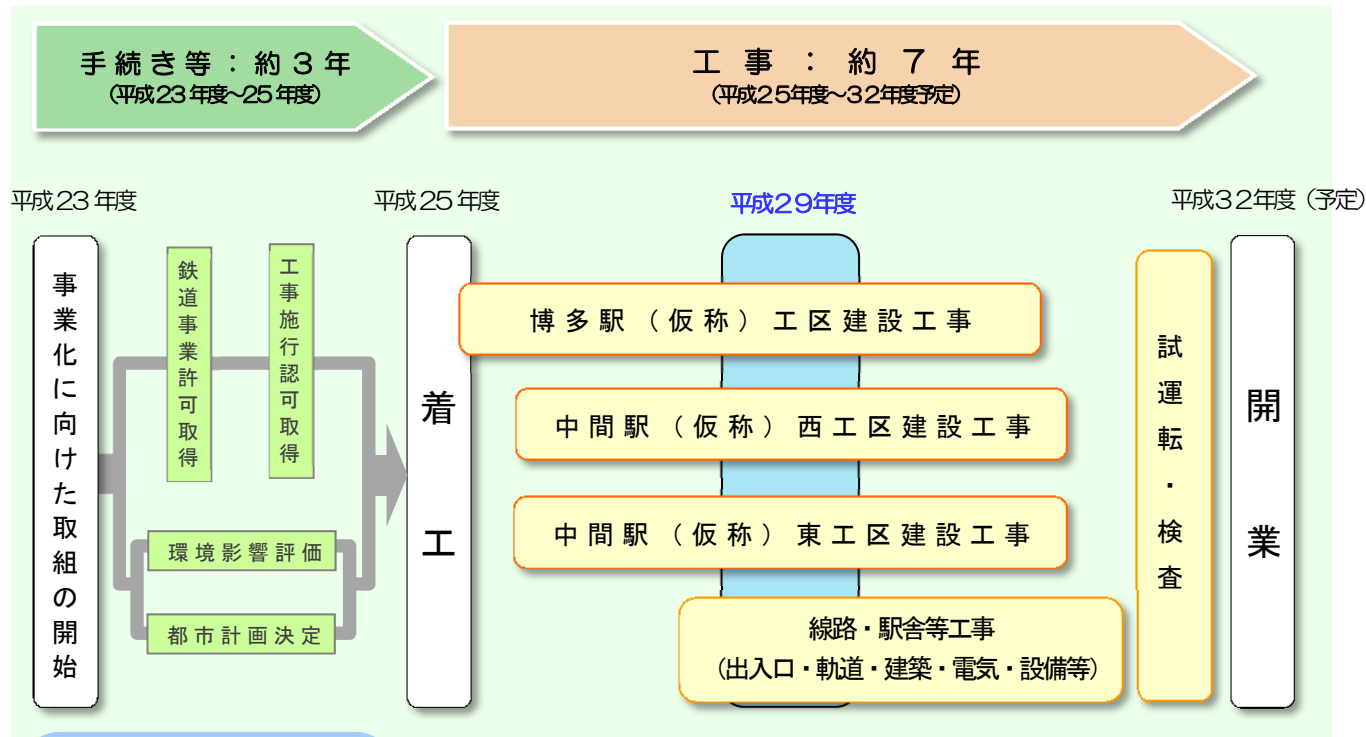
1) 全体スケジュール

七隈線延伸事業は、平成23年度より事業化へ向けた取組を開始し、鉄道事業許可や工事施行認可を取得するとともに、環境影響評価や都市計画決定等の手続きを進め、平成25年度に土木本体工事に着手した。また、平成28年度には中間駅（仮称）の出入口工事に着手した。

平成29年度は、中間駅（仮称）工区では、引き続き、土木本体工事を鋭意進めるとともに、博多駅（仮称）工区においては、平成28年11月8日の道路陥没事故により中断している工事を早期に再開し、安全を最優先に工事を進める。

また、後続工事の発注に向けて電気や建築・設備等の実施設計を進めており、早期開業を目指し、着実に事業進捗を図っていく。

◆全体スケジュール



(参考) 事業概要

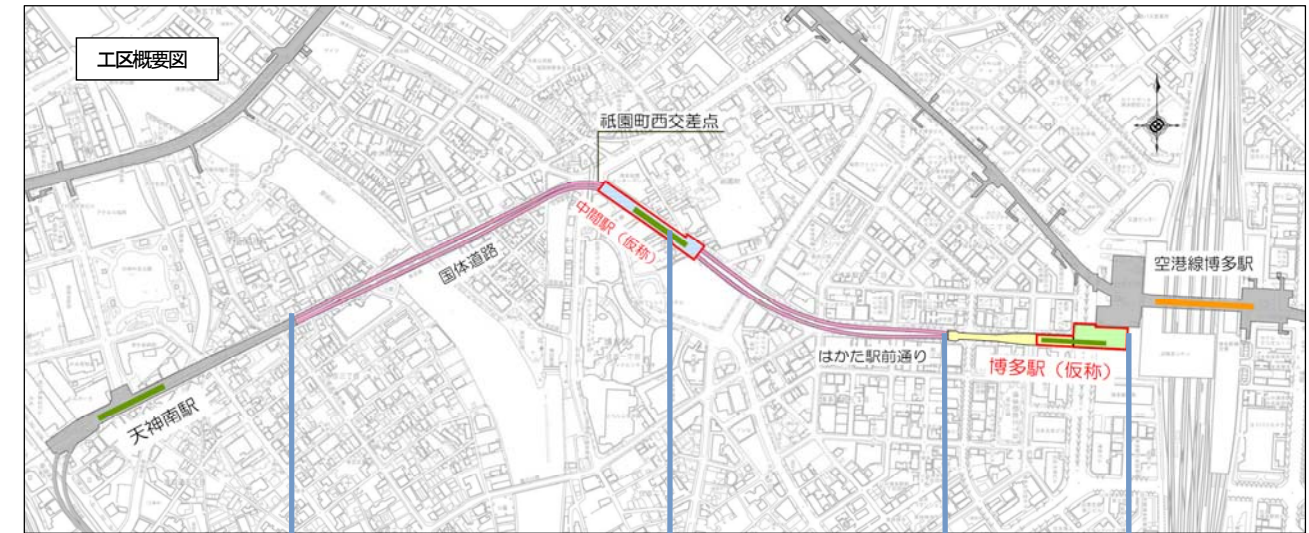
- 延伸区間 天神南～博多
- 建設キロ 約1.4km (営業キロ約1.6km)
- 建設費 約450億円
- ※建設資材価格、労務費などの上昇による影響に加え、道路陥没事故も踏まえ、今後検証を行っていく
- 利用人数 延伸区間で約8.2万人/日 (このうち新規利用者数・純増約2.3万人/日)
- 開業予定 平成32年度
- ※今後、道路陥没事故の原因究明、及び再発防止策の検討を踏まえながら再検討

2) 工事の進捗状況

◆土木本体工事の概要

平成25年度に中間駅（仮称）西工区、中間駅（仮称）東工区、博多駅（仮称）工区の3工区に分割し、工事契約した。

なお、中間駅（仮称）付近の埋蔵文化財の発掘調査の影響により、中間駅（仮称）西・東工区について、工期変更を行っている。



工事名	福岡市地下鉄七隈線 中間駅(仮称)西工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 中間駅(仮称)東工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 博多駅(仮称)工区建設工事
工期	平成26年3月6日から 平成31年12月16日まで (約5年9ヶ月)	平成26年3月6日から 平成31年12月16日まで (約5年9ヶ月)	平成25年12月5日から 平成31年3月15日まで (約5年3ヶ月)
受注業者	大林・熊谷・大本・東田中 建設工事共同企業体	銭高・日本国土・九建 建設工事共同企業体	大成・佐藤・森本・三軌・西光 建設工事共同企業体
工事概要	工事延長 L=670.9m ・シールド工法 L=569.9m ・開削工法 L=138.7m	工事延長 L=469.6m ・シールド工法 L=426.1m ・開削工法 L=43.5m	工事延長 L=279.3m ・都市タム工法 L=195.6m ・開削工法 L=83.7m (アンダーピニング工法)

○中間駅（仮称）西・東工区

埋蔵文化財発掘調査や地下埋設物移設等が概ね完了し、現在、車線を段階的に切り替えながら、土留め欠損部等の地盤改良や1次掘削等を行っており、平成28年度に着手した出入口部においては、土留工等の工事を進めている。

写真①：はかた駅前通り占用状況（西工区）



写真③：はかた駅前通り占用状況（東工区）



写真②：掘削状況（西工区）



写真④：掘削状況（東工区）



○博多駅（仮称）工区

道路陥没事故により、ナトム区間の工事は中断しているが、開削・アンダーピニング部については、施工途中であったJR地下街等のアンダーピニングについて、より安全な状態とするための保全措置工事を実施している。

写真①：住吉通り占用状況



写真③：大断面部の掘削状況



写真②：JR地下街下の状況



写真④：躯体構築状況

